

ICANN84 ccNSO関連報告

第74回ICANN報告会
2025年12月11日

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)
高松 百合 takamatsu@jprs.co.jp

基本情報

- ccNSO（国コードドメイン名支持組織）
 - 正式名称：
Country Code Names Supporting Organisation
 - ICANNにおける位置づけ
 - ICANNの活動を支える支持組織の一つ。
 - 約250のccTLDの内、約180のccTLDが参加。
 - ccTLDレジストリの連合体としてICANNの他支持組織や諮問委員会などと協調しながら、ccTLD全体にまたがるグローバルな課題についてポリシー案を作成し、ICANN理事会に勧告を行う。

JPRSは、日本を表す「.JP」を運用するccTLDレジストリとしてccNSOに参加。

※JPRSからは遠藤淳、高松百合が参加

ccNSOに関連する主な会合

10月25日(土) ～26日(日)	ccNSOの各種Committeeの作業ミーティング ccNSO評議委員会準備ミーティング など
10月27日(火)	▪ Tech day
10月28日(水)	▪ ccNSO Members Meeting Welcome Session ▪ ccTLD News ▪ WSIS+20 and Beyond: A Future Built by ccTLDs① ▪ ccTLD Consultation on review of reviews ▪ Joint session: ccNSO and ICANN Board
10月29日(木)	▪ A Casual Meet-Up for ccNSO Newcomers ▪ Joint session: ccNSO & GAC② ▪ IANA & Disaster Recovery ▪ Q&A with candidates Council, Board Seat11③④ ▪ Joint session: ccNSO and RSSAC
10月30日(金)	▪ ccNSO Council

①WSIS+20プロセスレビューに関するセッション(1/2)

• 背景

- 国連は、2025年中にWSIS+20プロセスレビューに関する成果文書を採択予定
 - この文書は、今後のインターネット・ガバナンスの基本方針（政府と民間・技術コミュニティの関係、IGFの位置付け、国際的な枠組み）に影響力をもつ
- ccNSOでは、Internet Governance liaison Committee (IGLC)がWSIS+20を含むインターネットガバナンスに関連した動向を注視
 - ccTLDはインターネットを、オープン・グローバル・強靱・相互運用可能に保つことの重要性を知る立場
 - IGLCは、ICANN会合やccNSOメンバ向けのニュースレターを通じ、動向等に関し、情報共有や啓発を実施

①WSIS+20プロセスレビューに関するセッション(2/2)

• ICANN84でのセッション概要

- 4名の話者それぞれの立場からWSIS+20プロセスレビューに関する動向や意見を共有

Erastus Ekitela Lokaale氏 (WSIS+20レビューの協同調整役)

- 成果文書は完成に向け最終局面
- 技術コミュニティの貢献を明示的に位置づける意向がある

Byron Holland氏 (.ca・ccNSO選出ICANN理事)

- ccTLDはインターネットのインフラを提供する立場として意見を発信すべき
- 個別の発信だけでなく技術コミュニティとして組織的な発信も重要

Olga Cavalli氏 (NomCom選出ccNSO評議委員)

- デジタル政策の議論と、DNSなどインターネット基盤を扱う「インターネットガバナンス」を混同すべきではなく、後者はマルチステークホルダーで担うべき

Vint Cerf氏 (IGF Leadership Panel)

- IGFはマルチステークホルダー型インターネットガバナンスの要だが、財政的に支えなければ存続できない

②DNS Abuseをテーマとした GACとの共同セッション(1/2)

- セッション概要

- 以下5つのテーマで、GAC及びccNSOメンバが関心のあるHostと質疑や意見交換を実施

No	テーマ	各グループでの進行役(Host)
1	AIを活用したDNS Abuseの検知及び防止	Christian Hasselman (.nl) Nicholas Caballero (GAC Chair)
2	大量ドメイン登録(Bulk Registration)に関する課題	Peter Koch (.de) Martina Barbero (欧州委員会)
3	ドメインポートフォリオにおける不正利用の調査・分析	Crystal Peterson (.us) Susan Chalmers (米国政府)
4	詐欺・不正行為防止のための国家的枠組み	Bruce Tonkin (.au) Ian Sheldon (豪政府)
5	Trusted Notifier制度	Jake Vincet (.uk) 宮本知典課長補佐 (日本政府)

②DNS Abuseをテーマとした GACとの共同セッション(2/2)

• 5つのテーマの概要

1. AIを活用したDNS Abuseの検知及び防止

- ・.nlが、機械学習により不正オンラインショップなどの兆候を大規模データから検知し、人による確認を組み合わせた取り組みを紹介

2. 大量ドメイン登録(Bulk Registration)に関する課題

- ・「大量登録＝悪」という単純化はできず、「登録数」よりも「行動パターンと意図」が重要であるという認識を共有

3. ドメインポートフォリオにおける不正利用の調査・分析

- ・.usが、個別ドメイン名ではなく、「同一人物・組織により登録されている複数のドメイン名」をひとつの単位として不正検知するアプローチを紹介

4. 詐欺・不正行為防止のための国家的枠組み

- ・オーストラリア政府による「国家詐欺対策センター(National Anti-Scam Centre)」の仕組みを紹介

5. Trusted Notifier制度

- ・.ukが導入している専門機関との連携について紹介

③ccNSO評議委員候補とのQ&Aセッション^{JPRS}

• 概要

- 2026年3月に任期を満了する各地域選出のccNSO評議委員改選に向け、立候補者による所信表明と質疑応答を実施
- AP地域枠に2名立候補、AF地域は立候補者なし

地域	現任	立候補者
北米(NA)	Stephen Deerhake (.as)	Charles Noir (.ca)
ラテンアメリカ&カリブ(LAC)	Alejandra Reynoso	Alejandra Reynoso
アジア太平洋(AP)	Ai-Chin Lu	Boyoung Kim (.kr) Sami Mohamed Ali (.bh)
ヨーロッパ(EU)	Chris Disspain	Chris Disspain
アフリカ(AF)	Molehe Wesi (.za)	なし

• ICANN84以降の動き

- AP地域で選挙実施(投票期限:12月9日)
- AF地域は再度の募集でGrace Ingabire(.rw)が立候補

④ ccNSO選出理事候補とのQ&Aセッション

- 概要

- 2026年の年次総会(10月)に任期を満了するccNSO選出理事(Board Seat11)改選に向け、立候補者による所信表明と質疑応答を実施
- 立候補者は現任のPatricio Poblete氏 (.cl:チリ)のみであったため、会員投票は無し
- ICANN84の後、11月のccNSO評議委員会にてccNSO選出理事の候補者とすることを決議



Patricio Poblete氏

